

セリオ、浜松の植物園にシニアカー

電動車いす製造販売のセリオ（浜松市）は23日、植物園のはままつフラワーパーク（同市）にシニアカー（ハンドドル形電動車いす）を寄贈した。写真。浜名湖畔の自然地形を生かして起伏に富み敷地面積が30万平方メートルと広大な園内を、高齢者や体の不自由な人でも気軽に散策してもらえるようにする狙い。



セリオが浜松市内で製造するシニアカー「遊歩フジ」を計3台、はままつフラワーパークを運営する公益財団法人浜松市花みどり振興財団（同市）に寄贈した。

セリオと取引のある遠州信用金庫（同市）の守田泰男理事長が同社に働きかけて実現。フラワーパークにはシニアカー最大手のスズキ製が6台あり、セリオ製を加え全9台となった。

従来、利用希望の多さからシニアカーがすべて出払うこともしばしばあり台数は足りていなかったという。同日開かれた寄贈式でセリオの望月誠社長は「長い距離が歩けず回れるだろうかと不安な方にも、四季折々の花を楽しんでいただける」と話し、インバウンド（訪日外国人）も含めた国内外からの来園者による利用に期待を示した。

許諾番号30093721 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2023年05月24日 日本経済新聞 地方経済面 中部 © 日本経済新聞社 無断複製転載を禁止します。